



専門高校等の学びの祭典

第32回全国産業教育フェア青森大会

令和4年10/15(土)16(日)開催

# さんフェア青森2022

響かせよう産業の音色 ～縄文の風吹く青森で～



開催期日 令和4年10月15日(土)～令和4年10月16日(日)

会場 新青森県総合運動公園マエダアリーナ ほか

初等中等教育局参事官(高等学校担当)付産業教育振興室

令和4年10月15日(土)・16日(日)、新青森県総合運動公園マエダアリーナなど、青森県内6会場にて、全国の専門高校等で学ぶ生徒が日頃の学習成果を発表する、「第32回全国産業教育フェア青森大会」が開催されました。青森大会では、「響かせよう産業の音色～縄文の風吹く青森で」をキャッチコピーに、全国の専門学科や総合学科で学ぶ高校生、特別支援学校の生徒、小・中学生、保護者、教職員のほか、企業・大学・専門学校等の関係者、さらに、多くの一般の方々など、多くの来場者を迎え、魅力ある産業教育の取組を青森県から発信することができました。

チアダンスが、大会の始まりに華を添えてくれました。



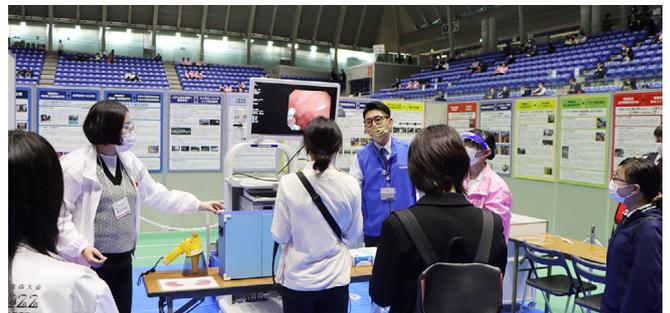
<チアダンス>

「県内企業魅力体験」では、青森県のさんフェア関係校35校が地元企業等と連携した取組をポスターで発表するとともに、各専門教科等を代表して、来場者に体験してもらうメニューを準備したところ、予想以上に大好評でした。



<メイン会場全景>

「オープニングアトラクション」は、特別史跡三内丸山遺跡のマスコットで、本大会のマスコットでもある「さんまる」が夢で見た青森ねふたに興味を持ち、現代にタイムスリップしたところ、さんフェアの会場にたどり着いたという寸劇から始まりました。その後、開会式典、青森山田高校吹奏楽部による演奏「煌夜一祭の幻想」、弘前実業高校による



<内視鏡操作技術体験【看護】(黒石高校×青森オリンパス)>

「青森県の産業の魅力語る」トークイベントでは、青森県出身で津軽塗の職人を祖父に持つタレントの王林さんと生徒実行委員会が、青森県の産業の魅力について語り合いました。王林さんは青森の産業を後世に伝えるこ

との大切さや、東京に出てみて、改めて青森の魅力を発見したことなど、若者の心に響くトークを展開しました。



＜こざん刺しを施したシューズについて語る王林さん＞

りんご娘さんのステージでは、青森中央高校の生徒が製作した衣装をまとったりんご娘さんがアンコールに応え、最後の曲「だびょん」では会場が一体となり、大いに盛り上がるシーンとなりました。



＜りんご娘さんのステージ＞

わくわくこども商人では、ビジネスの面白さを伝えるため、6つの仕事体験を準備し、その報酬「あがるマネー」で5種類の買い物や遊びができる仕組みで楽しませました。



＜わくわくこども商人（あきんど）＞

ファッションショーでは、「桜華」というテーマで、弘前実業高校服飾デザイン科の生徒が全て手作りした衣装をまとい、ランウェイで表現する姿に多くの来場者が魅了されました。



＜ファッションショー＞

フラワーアレンジメントコンテストでは、「縄文の風」というテーマで、全国の60名の生徒が花材やりんごなどの資材で作品を製作しました。



＜第21回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト＞  
【文部科学大臣賞】静岡県立田方農業高等学校 鈴木 花

クッキングコンテストでは、「高校生が元気になるランチ」というテーマで、全国の6チームによる2次審査を行いました。



＜全国高校生クッキングコンテスト＞  
【文部科学大臣賞】青森県立百石高等学校B